

中部教頭会第3ブロック研修レポート

- 1 研修テーマ 「先読み。道徳の教科化」
- 2 期 日 平成27年7月31日（金曜日）
- 3 場 所 琴浦町生涯学習センター
- 4 講 師 国立教育政策研究所 教育課程研究センター 基礎研究部
総括研究官 西野真由美 氏
- 5 参加者 18名
- 6 研修概要

- (1) 教科化の基本的な考え方
- (2) 教育方法の質的転換に向けて
- (3) 「特別の教科 道徳」学習指導要領のポイント

平成30年度からとも言われる道徳の教科化について大きな理念から具体的な資料を扱った実践例まで取り上げられるとともに、参加者の疑問や要望を取り入れる形での協議も行われ、学校現場での実践と直接つながるものとなった。



7 参加者の感想（まとめに代えて）

- ・一番知りたかった評価についてたくさんお話が聞けて良かった。「子どもの成長をとらえて評価する」という点について納得できた。しかし、児童数の多い学級のこと、今後若い先生が増えていくことを考えると難しくも感じる。
- ・NHK「ココロ部」はぜひ取り入れてみたい。教科書となると年間計画にしっかりと沿って進めなければということが気になるが、子どもの心に迫るためにこうした番組や他の教材なども取り入れて良いのだろうか。そのあたりについてまた学んでいきたい。
- ・教科化に伴ってやはり評価の仕方が心配です。研修の中で文章での記述という話が出ましたが、正直通知票には行動所見もあり、道徳もとなるとかなり負担となります。内容的にも学びの姿など重なるところもありそうでやっぱり不安です。
- ・NHKのコンテンツは使ってみようかなと思いました。映像で生徒も取っつきやすく10分でかなり生徒を悩ませることができそうです。「決めたことをどう伝えるか」を大切にしたいと思いました。うまく自分の気持ちを伝えられない生徒が多いです。
- ・本日は本当にありがとうございました。久しぶりに西野先生のお話しをお聞きし、道徳の時間の本質、重要性を再確認させていただきました。
「道徳」の教科化に伴ってその理念から細部に至るまで多くのことを学ばせていただきました。「アクティブラーニング」であること、そして深く考えること、それはより良い自分、より良い仲間になるための学びであることなど・・・、今後の教育の在り方をさらに深く考えていきたいと痛感させていただきました。これからも変わりなくご指導よろしく申し上げます。
- ・授業の中で多様な価値観をどう引き出していけばよいのか、道徳としての問題を考え続ける姿勢、話し合うことの大切さなど、実際に授業を行う上での基本的な考え方がとてもよくわかりました。

また、評価についても丁寧に説明してくださり見通しが持てました。(実際に行うとなると不安もありますが…)2学期からすぐにでも実践してみようと思える内容でした。ありがとうございました。

- 教科化に向けての考え方が理解できました。考えてみるとこれまでの道徳においても当然考えておくべきだったなと思います。あらためて「道徳の授業をする」ということについて考えてみたいと思います。もちろん教科の授業においても。
- 少人数で質問しやすい研修でした。参加して良かったです。20 数年道徳に関わってきて、過去の自分の実践と方向はまちがってなかったことはよくわかりました。今、職場に若い方が増えてきたことを思うといかに伝えていくかという気持ちになります。がんばります。
- 今日は「目からウロコ」のお話しがたくさん聞けて大変勉強になりました。道徳の時間ではより正しい価値を教えることが大切だと考えていました。確かに答は一つではありません。多様な考えを知ること、そこから共通のねらいのもとで自分なりのより良い答を考え続けていくことが大切なのだと思います。そのため話し合う機会を設けるようなアクティブラーニングのような手法などバリエーションに富んだ手法が必要なのだと感じました。(間違っただ方に流れそうな時の軌道修正は必要かな) 西野先生は子どもの心理や行動を本当によく知っておられてその面でもお話しは興味深かったです。

また、お話しを聞かせていただきたいと思いました。いずれにせよ子どもがより良い答を求めている学級経営がいるなあと思えました。ありがとうございました。

- 大変素晴らしい研修の機会をいただきありがとうございました。心配だった評価についても大変わかりやすく説明いただきました。従来の「何を大切にするか」だけでなく「どう伝えるか」を大切にすることも良く理解できました。学校に帰っても道徳の推進に向けて取り組んでいきたいと思えます。最後に西野先生のますますご活躍をお祈りしております。

